短歌　＊＊

次の短歌を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

a　くれなゐの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる

b　清水へ祇園をよぎる桜月夜こよひ逢ふ人みなうつくしき

c　いのちなき砂のかなしさよ
さらさらと
握れば指のあひだより落つ

d　最上川逆白波のたつまでにふぶくゆふべとなりにけるかも

e　白鳥は哀[A]しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ

f　野に捨てた黒い手袋も起き上がり指指に黄な花咲かせだす

g　マッチ擦るつかのま海に霧[B]ふかし身捨つるほどの祖国はありや

h　母にはじまり無限の人を並べたる不滅[C]の列にわたしはをらず

i　「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日

問一　次の作者の歌をa～iの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　若山牧水　　**イ**　俵万智　　**ウ**　正岡子規　　**エ**　斎藤茂吉　　**オ**　石川啄木　　**カ**　与謝野晶子

問二　波線部A「哀しからずや」を現代語訳しなさい。

問三　波線部B「霧ふかし」の意味として適当なものを、次の**ア**～**エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　白い霧　　**イ**　深い谷に出る霧　　**ウ**　前も見えない霧　　**エ**　夜の霧

問四　波線部C「不滅の列」の意味として適当なものを、次の**ア**～**オ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　兄弟　　**イ**　遺伝　　**ウ**　寿命　　**エ**　家系　　**オ**　子

問五　次の説明に当てはまる歌をa～iの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

1　厳しい自然を見つめて詠んでいる。
2　日常的な表現で恋心を詠んでいる。
3　思想が崩壊した体験を詠んでいる。
4　誇らかな青春の美を詠んでいる。
5　色鮮やかな自然の細部を詠んでいる。

問六　二句切れの歌をa～iの中から選び、記号で答えなさい。

問七　色彩の対比を生かした歌をa～hの中から二つ選び、記号で答えなさい。

問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一
		1				ア
		2				イ
		3				ウ
		4				エ
		5				オ
						カ

学 年
組
番 号
氏 名
得 点

短　歌　＊＊

〔出題の意図と留意点〕　語の意味と、一首の読解と鑑賞に関するものをコンパクトに提起した。テストも授業の一環とし、答え合わせの時にフォローする必要があろう。

☆解答例と配点

問一　**ア**　e　**イ**　i　**ウ**　a　**エ**　d　**オ**　c　**カ**　b　〈2点×6〉

問二　哀しくないのだろうか。（いや哀しいことであろう。）〈5点〉

問三　**ウ**　〈4点〉

問四　**エ**　〈4点〉

問五　1　d　2　i　3　g　4　b　5　a　〈3点×5〉

問六　**c・e**　〈2点×2〉

問七　**e・f**　〈3点×2〉

計50点

短　歌　＊＊＊

次の短歌を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

a　いちはつの花咲きいでて我目には今年ばかりの春行かんとす

b　やは肌のあつき血潮にふれも見でさびしからずや道を説く君

c　幾山河越えさり行かば寂しさの終てなむ国ぞ今日も旅ゆく

d　ふるさとの訛なつかし
停車場の人ごみの中に
そを聴きにゆく

e　のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳根の母は死にたまふなり

f　水滴よりつめたく断を下すもの われの背筋に添ひて流れつ

g　ふるさとの訛りなくせし友といてモカ珈琲はかくまでにがし

h　太陽が欲しくて父を怒らせし日よりむなしきものばかり恋ふ

i　「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ

問一　次の作者の歌をａ～ｉの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　若山牧水　　**イ**　与謝野晶子　　**ウ**　正岡子規　　**エ**　斎藤茂吉　　**オ**　俵　万智　　**カ**　石川啄木　　**キ**　寺山修司

問二　波線部Ａ「寂しさの終てなむ国」を現代語訳しなさい。

問三　波線部Ｂ「赤」の持つ意味は何か。答えなさい。

問四　波線部Ｃ「足乳根の母」に込められた作者の気持ちを答えなさい。

問五　波線部Ｄ「われ」の心情として考えられるものを、次の**ア**～**オ**の中から全て選び、記号で答えなさい。

ア　緊張　　**イ**　落胆　　**ウ**　期待　　**エ**　拒絶　　**オ**　不安

問六　ｄの歌とｇの歌の関係を簡潔に述べなさい。

問七　次の項目に関係する作者を問一の**ア**～**カ**の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

１　「赤光」　　２　「竹乃里歌」　　３　「田園に死す」　　４　「サラダ記念日」
５　「みだれ髪」　　６　「一握の砂」　　７　「別離」

問八　ｈの歌の説明として適当なものを、次の**１**～**６**の中から選び、記号で答えなさい。

１　春を惜しむ情の内に自己の死を見つめている。
２　官能的な表現で恋する心を歌い上げている。
３　生きている限り続くだろう寂寥感を歌っている。
４　故郷を喪失することへの不快感が詠まれている。
５　幼い日の情景から現在へと思いを広げている。
６　他愛ない会話にほのぼのとした恋心を感じている。

問 八	問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一
	1						ア
	2						イ
	3						ウ
	4						エ
	5						オ
	6						カ
	7						キ

学 年
組
番 号
氏 名
得 点

短　歌　＊＊＊

〔出題の意図と留意点〕　作者名、読解と鑑賞、一首のテーマの簡潔な把握、文学史の把握など総合的に問題を提起した。テスト後の授業でフォローが望まれよう。

☆解答例と配点

問一　**ア**　c　**イ**　b　**ウ**　a　**エ**　e　**オ**　i　**カ**　d　**キ**　g　〈２点×７〉

問二　「寂しさが（きっと）なくなるであろうところ」または「「寂しさがなくなるところ」　〈４点〉

問三　（死にゆく母に対して生きている玄鳥の）生命力のシンボル。　〈３点〉

問四　豊かな母乳によって自分を育ててくれた母への感謝の気持ち。　〈３点〉

問五　**ア・オ**（完答）　〈４点〉

問六　gの歌はcを参考（下敷き・背景・ヒント）にしては詠まれている　〈４点〉

（注）一般に、近代短歌では「本歌取り」という表現はしないが、「gの歌はcの本歌取りとなっている。」という答えを正解として認めることもできよう。

問七　１　エ　２　ウ　３　キ　４　オ　５　イ　６　カ　７　ア　〈２点×７〉

問八　５　〈４点〉

計50点